

2018年7月 キューバ医療事情

下記情報は当地報道を抄訳したものです。詳しくは原文をご参照下さい。

【キューバ医療事情】

7月4日【CIBERCUBA】

“薬品危機の中、キューバ政府はセント・ビンセント&グレナディン諸島の現代的な医療センターに資金を提供”

キューバの病院の貧弱な状態や医薬品不足に対する多くの苦情がある中、キューバ政府はセント・ビンセント&グレナディン諸島の首都ジョージタウンに現代的な医療診断センターを開設した。設備の寄付だけでなく、医師や医療技術者の派遣を含む、様々な段階で貢献した。

7月7日【Diario de Cuba】

“肥満がキューバの健康問題”

キューバ人口1120万人のうち42%が太りすぎて、健康問題となっている。全国調査で女性の47%、男性の37.6%が肥満であった。また専門家は肥満の13%が未成年であったことを危惧している。

7月10日【CIBERCUBA】

“エクアドルで活動中のキューバ人医師、帰国へ”

エクアドル社会保障機関との契約が更新されなかったため、エクアドル南部で勤務していた少なくとも7人の医師がキューバに帰国することになった。契約は毎年更新されるものであるが、今年更新されなかった。理由の詳細は不明。

7月17日【Marti】

“国立癌・放射線研究所病院で火災”

火曜日の午後、国立癌・放射線研究所病院で火災が発生。目撃者によると数ブロック離れたところからも黒煙が確認でき、多くの消防隊と警察が出動した。108人の患者は全員、他の病院に移送でき、現在のところ負傷者は報告されていない。

7月21日【Marti】

“保健当局はキューバにデング出血熱が存在することを認めた”

今週、シエンフエゴス県の保健疫学部長が、ラハス、パルミラ、クマナヤグア、ランチェロの町で2型のデング出血熱が発生したことを認めた。

7月24日【Diario Las Americas】

“ベネズエラで新たに62人のキューバ人医師がサービスを提供”

キューバとベネズエラは密接な関係にある。ベネズエラは特に医療と教育分野の専門サービスと引き替えにキューバに石油を送っている。

無償医療サービスを提供するバリオ・アデントロ派遣事業により、最近ハバナ医科大学を卒業した62人の医師がベネズエラに派遣されることになった。